

日本語教育活動評価
2024年度 自己点検評価表

*評価項目1における()内は、2025年度より変更予定の内容である。

日本語教育機関名：

HLA日本語学校

評価項目 1	教育の理念・目標と、その具体化のための方策		
理念	現代の国際化時代において、広い視野と実践力のある人材の育成を図り、日本と母国の懸け橋的役割を担う人材を育成し、国際交流親善の発展に寄与する。 (1. 日本語力の向上を目指す 2. すべての人を人として尊重する 3. 自律性を重んじる)		
教育目標	“夢や希望をもつ人材を育成する”という理念の下、高い水準の日本語能力を習得することはもちろん、日本での生活と文化を体験し、広い視野を身につけた国際感覚豊かな人材の育成を目指す。 (1. 高い日本語力を養成する：日本での生活に必要な基本的な日本語を学び、その上で大学などの高等教育機関で学ぶために必要な高度な日本語力を身につけることを目指します。 2. 多文化共生社会の実現に寄与する：日本の社会や文化への理解を深め、お互いに尊敬し合い、理解し合うことを大切にするように促し、いろいろな文化背景を持つ人々が共に生きる社会の実現に貢献します。 3. 自律性を重視する：高い日本語力の習得や多様な文化を持つ人々と共に生きる多文化共生社会の実現に貢献するために、自ら学び、自ら考えて行動する力を育成します)		
具体化のための方策	1.高い日本語力の養成について：①授業においてはメディアなどで知りえた情報や知識をもとに、それに対し自分なりの考えを持つ。②周りの人と意見交換を行い、考えたことをまとめて相手にわかるように文にしたり、発表したりする授業を行う。 2.多文化共生社会の実現に寄与することについて：①教室内の多国籍の環境で学ぶことにより互いの考えや文化を尊重することを常に意識する。②地域の活動に積極的に参加し、日本人や多国籍の住民との交流を促すことにより多文化共生社会について考える土壌を作る。 3.自律性を重視することについて：キャリア学習を行う。この学習を通して①自分自身を振り返る②①を基により良い選択ができるよう、自身の性格や思考方法の特徴を分析し、将来像が描けるようにする。③自分自身で進路が選択できるよう、多くの情報、資料を与える。		
評価項目 2	日本語教育機関の運営		
	①	認定日本語教育機関認定基準又は日本語教育機関の告示基準に適合していることを年 1 回以上確認している。	☒ A B C
	②	運営の透明性が確保されている。	
		i 校長、主任教員、専任教員、非常勤教員、事務局統括職員、事務職員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ、教職員間で周知されている。	☒ A B C
		ii 管理、運営のための諸規程を整備し、規定に基づいた運営が効果を上げている。	☒ A B C
		iii 予算編成が適切になされ、明確なルールにより執行している。	☒ A B C
	③	運営に必要な情報が機関内の関係者間で共有されている。	
		i 機関の短期及び中長期目標が教職員間で周知されている。	☒ A B C
		ii 運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能している。	☒ A B C
	④	運営にあたり法令を遵守している。	
		i コンプライアンス意識向上のため担当者を定めて取組を行い、効果が出ている。	A ☒ B C
		ii 関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っている。	☒ A B C
評価項目 3	情報公開		
	①	機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。	A ☒ B C
	②	募集及び納付金に関する情報を公開している。	☒ A B C
	③	入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。	A ☒ B C
	④	情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。	☒ A B C
	⑤	公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	A ☒ B C

評価項目 4	入学者の募集と選考		
	①	適切な方法で入学者の募集を行っている。	
		i 教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。	(A) B C
		ii 機関所属の職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っている。	(A) B C
		iii 海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている。	(A) B C
		iv 海外の募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。	(A) B C
	②	適切な方法で入学者の選考が行われている。	
		i 受け入れるコースの教育内容が入学志願者のニーズと合致することを確認している。	(A) B C
		ii 入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。	(A) B C
		iii 入学志願者の学習能力、学習意欲、日本語能力等を確認している。	(A) B C
		iv 入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠資料で確認している。	(A) B C
		v 不法残留者を多く発生させている国からの志願者には機関所属職員が面接等の調査を行っている。	(A) B C
評価項目 5	教育活動		
	①	教育目標に合致した教育活動の計画を作成している。	
		i 理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成している。	(A) B C
		ii 学生の熟達度を、特定の試験の成績だけで判定するのではなく、「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけて理解する試みを行っている	(A) B C
		iii 理念及び教育目標に適合した教材が選択、又は制作されている。	(A) B C
	②	教育活動を適切に実施するための手立てを講じている。	
		i 教育活動の計画が教員全体に周知されている。	(A) B C
		ii 学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	(A) B C
		iii 当該学期の学習内容及び学習予定等を学生に開示している。	(A) B C
		iv 出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善に活かせるような形で授業記録簿を残し、記録内容を関係教員間で共有している。	(A) B C
		v 学習成績の判定基準及び方法が定められ開示されている。また判定結果を的確に学生に伝えている。	(A) B C
	③	授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている。	
		i 検証のための体制、方法及び評価の基準を定めている。	A (B) C
		ii 学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	(A) B C
		iii 「～を実施している」ことの確認だけでなく、「それが実際に効果を上げているか」を、根拠に基づき確認できるような評価システムとなっている。	A B (C)
		iv 評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。	A (B) C
		v 評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	A B (C)
評価項目 6	教職員育成		
	①	教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っている。	
		i 教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示している。	(A) B C
		ii 新任教員、初任教員を対象とし、明示された「必要な能力・資質」を向上させることを目的とした研修を実施している。	(A) B C
		iii 経験を問わず、所属する教職員を対象に、振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確認を行っている。	A (B) C
		iv 他機関の実施する研修会等への参加を促している。	(A) B C

	②	教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている。	
	i	教職員評価のための体制、方法及び評価の基準を定めて、開示している。	A B C
	ii	上位者からの評価だけでなく、自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	A B C
	iii	評価結果を的確に教員に伝え、それが教員の能力・資質の向上に結び付いている。	A B C
	iv	評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	A B C
評価項目 7	学生支援		
	①	日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っている。	
	i	留学生活に関するガイダンスを定期的実施し、その効果を確認している。	A B C
	ii	留学生活に関する生活指導担当者が特定され、周知されている。	A B C
	iii	日本社会、日本文化を理解するための活動を行っている。	A B C
	②	進路指導を適切に行っている。	
	i	進路指導担当者が特定されている。	A B C
	ii	学生の希望する進路を随時把握し、入学時から一貫した指導をしている。	A B C
	iii	進学及び就職に関する資料や情報を収集し、学生に提供している。	A B C
	iv	卒業後の進路を把握している。	A B C
	③	安全な留学生活を送るための適切な取組をしている。	
	i	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A B C
	ii	重篤な疾病や障害、交通事故に遭った場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A B C
	iii	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法等を定め、避難訓練を定期的実施している。	A B C
	iv	必要な場合は母語等による支援体制を整えることができている。	A B C
	④	入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている。	
	i	入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。	A B C
	ii	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取組を継続的にを行い、発生を防いでいる。	A B C
評価項目 8	施設・設備		
	①	語学学習に適した施設・設備である。	
	i	教室内は十分な照度があり換気がなされているとともに、必要な遮音性が保たれている。	A B C
	ii	視聴覚教材や ICT を活用した授業が可能な教育用機器及び設備が備わっている。	A B C
	iii	授業時間外に自習できるスペースおよびリソースを提供している。	A B C
	②	学生及び教職員の安全を考慮し、適切な対処を行っている。	
	i	法令上必要な設備等を備えている。	A B C
	ii	廊下、階段等は緊急時に危険のない形状である。	A B C
	iii	バリアフリー対策を施している。	A B C
評価項目 9	地域貢献・社会貢献		
	①	地域貢献、社会貢献となる活動を行っている。	
	i	小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流 活動を行っている。	A B C
	ii	地域における日本語教育等を積極的に行っている。	A B C

評価項目 10	財務		
	①	日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況である。	
		i 財務状況は、中長期的に安定している。	Ⓐ B C
		ii 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	Ⓐ B C
		iii 適正な会計監査が実施されている。	Ⓐ B C